

国民大運動行動報告

第035号
2019年
11月28日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～ 第200臨時国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 11・27 定例国会行動～

内閣総辞職に値する重大事態！即刻退陣！



11月27日の昼休み、小雨の降るなか三者共催による定例国会行動は農民連の藤原麻子事務局次長の進行によりおこなわれ、会場の衆議院第2議員会館前には220名の参加者がつどいました。

国会は最終盤を迎え、安倍首相主催の「桜を見る会」による相次ぐ疑惑が明らかになり、政治の私物化ばかりか、安倍首相自身の公職選挙法、政治資金規正法違反が問われる重大問題となっています。しかし、政府与党は野党が求める総理出席の予算委員会要求を拒否する一方、労働者・国民生活に重大な影響を及ぼす公立学校教員の「1年単位の变形労働時間制」導入を狙う「給特法一部改正案」や日米貿易協定承認案を12月3日の委員会採決、4日参院本会議での採決強行を狙っています。こうした状況を鑑み、来週12月4日に緊急国会行動をおこなうこと集会のなかで提起しました。

また、当日は行動後に、消費税廃止各界連による「10%増税を告発する各界懇談会」、国民大運動、憲法共同センター等8団体による「9条改憲を先取りする大軍拡予算を許さない！消費税は減税を！軍事費を削って、くらし・福祉・教育・防災に」集会がとりくまれました。

悪政を押しつける「あべこべ政治」は即刻退陣！

主催者を代表して挨拶を行った全日本民医連の木下興事務局長は、公選法違反疑惑による安倍政権の重要2閣僚の辞任、萩生田文科相の「身の丈」発言による大学入試の英語民間試験の延期に続き、今度は安倍首相自身の「桜を見る会」私物化疑惑と反社会的勢力の参加について「もはや言い逃れはできない。内閣総辞職に値する重大事態だ」と強く批判。野党連盟による疑惑追及のチラ



シを手に「税金を私物化しながら、国民には医療・年金・介護改悪の悪政を押しつける、安倍政治によるあべこべ政治だ」とし「来週にも与党が可決を狙う日米貿易協定、教員の「1年単位の变形労働時間制」導入法案を許さず、たたかいを大きくして安倍政権を退陣に追い込もう」とよびかけた。

根腐れした桜ではなく、国民のくらしや権利がしっかり花咲く新しい政治をつくろう！

国会情勢報告を行った日本共産党の井上哲士参議院議員(国対委員長)は、「消費税増税、武器の爆買の一方、くらしや福祉を切り捨て税金の私物化を行う安倍政権への怒りの声が大きく広がり、野党共同が大きく発展している」と報告。さらに、反社会的勢力の参加の問題をそのままに、与党が3日に委員会採決を狙う2つの法案について応じる訳にはいかないとし、この間の憲法審査会で採決を許さないたたかい、高知県知事選での保守も加わった野党共闘の広がりに触れながら「共闘をさらに発展させ、根腐れした桜ではなく、国民のくらしや権利がしっかり花咲く新しい政治をつくるためにたたかい抜く」と決意を語った。



全商連の大川伸さんが、「全国から寄せられた一人ひとりの大切な声をぜひ、届けてください」と、3000万人署名を含めた131,092人分の署名を井上議員に託しました。

来年は日米地位協定発効から60年。抜本改定を求める署名を何としても集めよう！

安保破棄中央実行委員会の林竜二郎事務局長は、高知県知事選で大健闘をした松本けんじさんの「政治を変える力は、皆さんのなかにあります」という訴えに共感したとし、「こんな政治を変えなくてはいけないと思っている人は広がっており、今こそ私たちのなかにある変革の力を発揮するとき」とよびかけた。沖縄での平和大会で、子どもたちの上空を米軍の大型ヘリが容赦なく飛ぶ危険な状況を聞き、その背景には理不尽な日米地位協定があると指摘。「来年は日米地位協定発効から60年の節目の年。昨年全国知事会で抜本改定を求める提言が全会一致で採択され、全国180の自治体で同様の意見書が採択されている」とし、「来年6月までに500万人の署名運動で安倍政権を追い込み、野党連合政権の実現のために頑張る」と決意を語った。



二度と戦争のための工事はしない、平和でこそ建設産業は成り立つ！

東京土建の渡辺義久副委員長は、「全国各地で自然災害が発生しているなか、建設労働者への地域社会、行政からの期待は大きくなっており誇りをもって従事しているが、職場は人員減少、後継者不足と深刻な状況」だとし「企業は内部留保の積み増しで賃金に分配せず、消費税増税で多くの国民は景気に不安を募らせている」と

指摘。アスベスト裁判についても、「11回連続の原告勝利の判決が出されても国は従おうとしない」と安倍政権の政治姿勢を批判し「二度と戦争のための工事はしないと、平和でこそ建設産業は成り立つとした、1947年の東京土建の誕生のもとである平和を礎に、これからもたたかかっていく」と決意を述べた。



憲法を無視し、暮らしや教育に予算を回さない安倍政権を追い詰め、新たな政治の流れをつくろう！

全教の檀原毅也書記長は、「1年単位の変形労働時間制」導入法案は「一日8時間労働という人間らしく働くための大原則を滅茶苦茶にし、教員の働き方をますます過酷にするものだ」と告発。「教員だけでなくすべての労働者に深刻な影響を及ぼすため、文科委員会だけでなく厚労委員会との連合審査会を求めている」と報告。法案導入の目的は8月に5日程度の休みのまとめ取りができるようにするためとしているが、「長時間過密労働を覆い隠してみえなくするものだ」と指摘。また「労使協定ではなく各自治体の条例で導入できるようにすることは大問題」とし、「憲法を無視し、暮らしや教育に予算を回さない安倍政権を追い詰め、新たな政治の流れをつくろう」と決意を語った。

日本の未来は、私たち国民が決める！ 憲法変えるな、政治を変えよう！

憲法共同センターの長尾ゆりさん（全労連副議長）は、9万2,685人分の3000万人署名を視覚障害者の皆さんからの点字署名も一緒に提出したことを報告。「人間が戦争の役に立つかどうかだけで評価され、障害者が差別された戦争の時代をけっして繰り返してはならない、という思いとともに届けた」と語った。「安倍首相が2020年に新しい憲法の施行を目指すとしてから2年半、改憲発議はできていない」とし「今国会でも自民党改憲案の提示はさせない。最後までがんばろう」とよびかけた。また、この間の野党共闘の結束について「様々な違いを乗り越えて野党が一つの束になって一致し発展していることに感謝とともに感動する」と述べ、「市民と野党の共闘で安倍政権を退陣させよう」と決意を語った。



「桜を見る会」の徹底説明、予算委員会の開催と安倍首相の出席を強く求めていこう！

国民大運動の渡辺正道事務局長は、冒頭、来週にかけて最大の山場を迎える国会情勢を踏まえ、4日（水）の昼に緊急国会行動をおこなうことを提起し、参加をよびかけた。「桜を見る会」をめくり連日新たな疑惑が出されているなか「会期延長をせずに幕引きを図ろうとしている」と指摘。世論調査をみても安倍首相に対する不支持が大きく広がっているとし、「与党が3日委員会採決、4日本会議を狙う2つの悪法を阻止し、『桜を見る会』の徹底説明、予算委員会の開催と安倍首相の出席を強く求めて運動を進めよう」とよびかけ、行動提起をおこなった。



行動のおしまいに、新婦人の河村玲子中央常任委員による音頭で、国会に向けて参加者全員で「予算委員会を開催しろ！」などとシュプレヒコールを行った。

今後のとりくみ日程(11月29日~)

●12月3日(火)18時30分~

『安倍9条改憲NO!ウィメンズアクション』 JR有楽町駅イトシア前
戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

●12月4日(水)12時15分~13時 参議院会館前 緊急国会行動

三者共催:国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協

●12月4日(水)18時30分~『

権力私物化やめろ、政治の腐敗に怒りを!安倍政治をおわらせよう!12・4官邸前
大行動』

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

~緊急国会行動~

第200臨時国会(12/9閉会予定)

12月4日(水)

12:15~13:00

参議員会館前



安倍政権退陣まで、結束してたたかい抜こう!

